

令和 7（2025）年度 資源評価調査状況報告書（拡大種）

ハマトビウオ太平洋鹿児島県海域

対象水域	太平洋鹿児島県海域	参画機関名	鹿児島県水産技術開発センター、水産研究・教育機構 水産資源研究所 浮魚資源部
------	-----------	-------	--

- ・ 令和 5 年度資源評価調査報告書を公表済み（https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2024/03/trends_2023_099.pdf）、次回令和 8 年度を予定

(1) 調査の概要

- ・ 機構は、調査指針の作成および資源評価調査状況報告書の取りまとめ
- ・ 鹿児島県は、生物調査収集調査を実施

(2) データ収集状況

- ・ 九州南部海域の標本漁協における月別漁獲量データおよびトビウオ浮敷網漁船の月別水揚げ統数を収集
- ・ 標本漁協における令和 6 年の漁獲量は 30.2 トンで前年（52.8 トン）を下回り、平年（2014～2023 年の平均：131 トン）を下回った
- ・ 九州南部海域で漁獲されたハマトビウオの精密測定により、産卵期および漁獲サイズ等を調査
- ・ 令和 6 年度は 2 回（4 月、3 月）計 60 尾、令和 7 年度は 4 回（6～9 月）計 120 尾の精密測定を実施

(3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：令和 5 年度資源評価調査報告書を参照（https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2024/03/trends_2023_099.pdf）
- (2) 年齢・成長：同上
- (3) 成熟・産卵：同上
- (4) 被捕食関係：同上

(4) 備考

- ・ 漁獲量や CPUE 等の動向には漁場への来遊条件の影響も大きいと考えられ、資源状態を判断するには情報が不足している状況